

7-7

広報活動を通して地域への情報公開

ホームページ、広報誌の活性化

情報公開

地域交流

社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム 江東ホーム

介護職員 浅田 清一

共同研究者：介護職員 長谷川洋次

東京都江東区東陽2-1-2

主任生活相談員 土屋健志・江田和彦

TEL 03-3647-5081

E-mail : koutouhome@bz01.plala.or.jp

FAX 03-3647-5407

URL : http://www.asokakai.net/

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

昭和62年開設の特別養護老人ホーム江東ホームは採菊町といわれる江東区のほぼ中央に位置し、その人らしさを支える真心ケアをモットーにきめ細かいサービスを実施しています。関連施設として併設所生活介護、在宅サービスセンター、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターを併設しております。

〈取り組んだ課題〉

- 情報公開の場が少なく、地域の方々に十分な情報が伝わっていない現状があり、具体的な広報活動の媒体や方法について検討する必要がある。
- 広報活動を通して、利用者や御家族はじめ当ホームに関わる皆さんに、ホームへの関心と理解を深めて頂き、サービス利用の拡大につなげていく。
- 情報公開・地域交流を推進することで、当ホームが抱える様々な課題を地域の方々と共に考え・参加・協力して頂けるよう、施設に関わる皆さんとの信頼関係、パートナーシップを築いていく。

〈具体的な取り組み〉

- 広報委員会を設置し、施設の方針を明確化し、組織として広報活動に取り組んでいくこととした。
- ホームページの掲載内容について検討を行い、ホームの概要の他、施設行事や施設長ブログ等随時更新していくこととした。又、内容も分かりやすく、受け手にたった情報を配信できるように配慮をした。
- より多くの方に、ホームページを見て頂けるように館内に案内を掲示、広報誌にも内容を掲載した。
- 広報誌については、発行回数を年1回から2回に変更した。又、配布先も家族の他に地域住民、区内サービス事業所、学生等に配布し、当ホーム認知向上につなげた。

〈活動の成果と評価〉

- 広報誌の発行回数・内容の見直しにより発行部数が増加し、様々な方に見て頂けるようになった。又、ホームページの案内を載せた事により検索件数も3倍から4倍増加した。
- 施設入所を検討している方、ボランティア希望の方、施設見学を希望されている方等から相談、問い合わせを頂き、地域の方々の良い情報源になっていることがわかった。
- 施設の取り組みをホームページや広報誌で公開することで、近隣の幼稚園や中学校との交流につながり、パートナーシップの構築につながった。

〈今後の課題〉

- 今後も地域住民との信頼関係（パートナーシップ）の充実と施設の透明化を図り、地域に開かれた施設を目指す。
- 更新のデータ作成や更新業務に関わる職員の負担が増えており、効率化、特定の職員のみでなく、全職員で取り組めるように検討する。
- 広報活動により人材確保とボランティアの充実を図り、施設の活性化につなげる。
- 掲載内容を充実化し、受け手に立った情報提供をし、一方性ではなく、双方性を持たせるように配慮する。